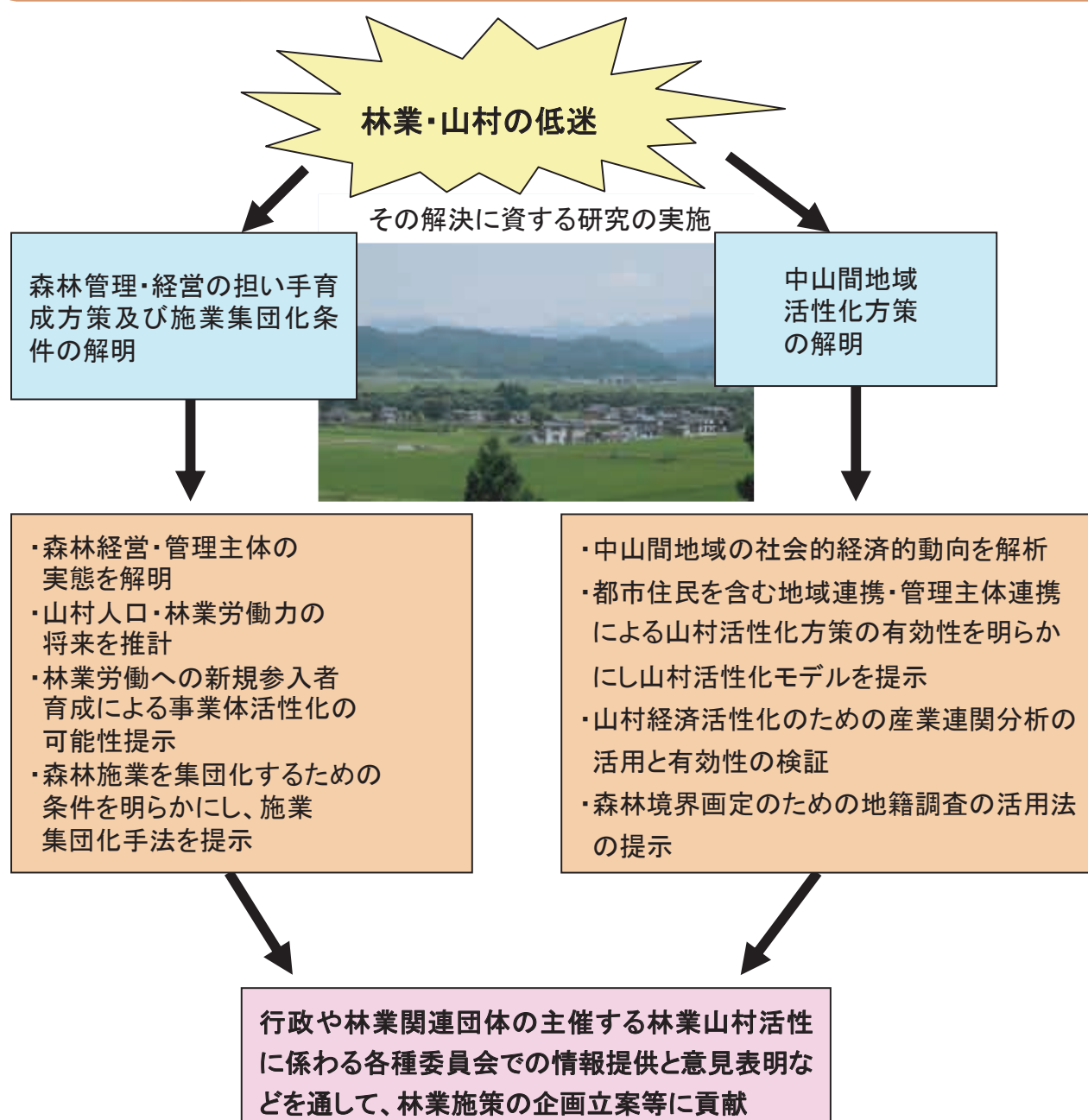


サ分野 森林・林業・木材産業政策の企画立案に資する研究 (イ) 持続的な森林管理・経営のための政策手法の高度化

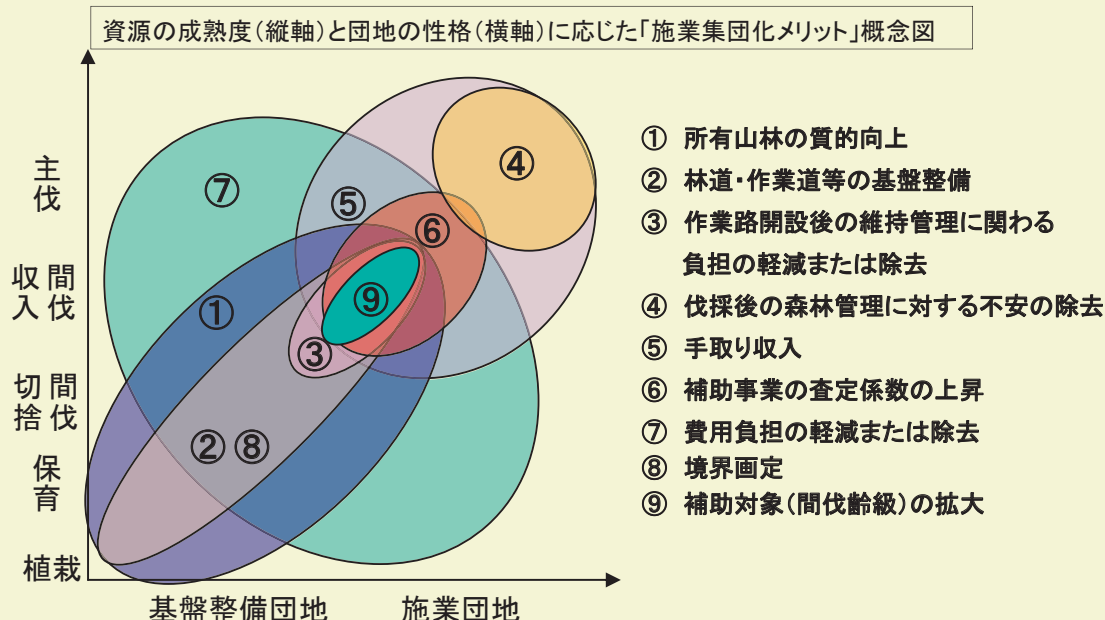
背景と目的

林業を巡る社会経済的条件が悪化する中で、森林所有者の林業への意欲や関心が急速に減退し、国民のニーズに応えた森林の管理を図っていくことが一層困難になっています。このため、森林管理・経営の担い手である林家や林業事業体等の動向を解明するとともに、持続可能な森林管理・経営や中山間地域の活性化を図るための諸方策のあり方を解明し、林業施策の企画立案に資することをめざしました。



施業集団化条件の解明

森林所有者の不在村化や経営への無関心化から団地化による集団的な森林管理が必要となっており、森林所有者が集団化に円滑に参加できる条件を「集団化メリット」として整理・提示しました。



中山間地域活性化方策の解明

山村活性化の先進事例分析から、川上・川中を対象とした山村施策だけではなく、川下も含めた地域内での様々な主体の連携による山村活性化が有効であることが明らかになりました。

